

水 痘（みずぼうそう）

☆水痘は、ウイルスにふれたり、ウイルスを口や鼻などから吸いこんだりすることで感染する病気です。うつりやすい病気で、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。

☆水痘にかかると、熱がでたり、なかに水が入ったぶつぶつがでたりします。まれですが、重くなると命にかかわることもあります。一度かかると一生体の中にひそみ、将来、帯状疱疹を発症することもあります。

☆水痘ワクチンを接種することで、体のなかに水痘への抵抗力（免疫）ができます。

☆このワクチンは1歳になってから接種し始めます。

☆水痘ワクチンは生ワクチンです。

●水痘にかかったことがあるお子さんは、水痘の定期予防接種の対象にはなりません。

■予防接種の受け方

いつ受けるの？

接種年齢 1歳以上3歳未満
(標準的な接種年齢：1回目は1歳以上1歳3か月未満)

どこで？

福島市登録医療機関に予約してください

持っていくものは？

母子健康手帳、水痘予防接種予診票、
子ども医療費受給資格者証など

回数と間隔は？

1回目

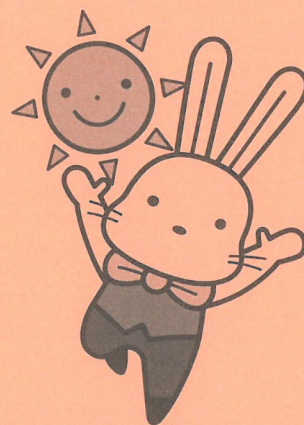
(標準的な接種年齢：1歳以上1歳3か月未満)

↓
1回目から3か月以上あける
(標準的な接種間隔：1回目から6か月以上12か月未満)

2回目

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- 健康な子どもや大人では、ほとんど体の変化はみられませんが、ときに熱がでたり、ぶつぶつがでたりします。
- まれに接種個所が赤くなったり、はれたり、かたくなったりしますが、数日で消えます。
- きわめてまれに、アナフィラキシー（急激なアレルギー反応）やけいれん、血小板減少性紫斑病（かさぶたをつくる働きの血小板が少なくなって、出血しやすくなる）などの重い症状があらわれることがあります。



○予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種医に相談してください。